

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの理念が作られていない	覚えやすく毎日実践できる理念の作成	理念の骨子を管理者リーダーで作成し、全員に図り意見を聞き、職員総意で理念を作成する。	1 か月
2	23	個別の対応が来ている利用者様は少数である。	全員の方に個別の対応をしていく。一人一人がいきいきと生活出来る。	各利用者様に担当者を決めてその方と深く関わり思いや希望を叶えられるように支援していく。	12 か月
3	19	頻回に面会に来られる御家族と来られない御家族の差が大きい。	御家族が訪ねて来やすい環境、雰囲気を作る	御家族を招く為のイベントを計画する。(例)食事会、運動会に御家族を招く。	12 か月
4	19	ひまわり通信を1ヶ月に1度送っているが、利用者様の日常の様子があまり御家族に知らされていない(特に健康に問題のない方)	御家族とグループホームの信頼関係を向上させて、御家族に安心感を持っていただく。	ひまわり通信を送る際に別紙で健康状態や、日常の様子を詳しく書いてお伝えする。	2 か月
5	13	介護経験の少ない職員が多い為、介護の基本姿勢、介護知識、技術が低い。	研修の充実、他施設への実習研修	施設内研修は実施しており、外部研修、特に他施設への実習を充実させる。現場での介護福祉士、看護師等、経験豊富な職員による指導教育を徹底する。実習、研修終了後は報告書を作成し回覧で職員全員が熟知できるようにし情報を共有する。	12 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。